

# 総合物流施策大綱(2009-2013)

## 今後推進すべき物流政策の基本的方向性

### グローバル・サプライチェーンを支える効率的物流の実現

政府間対話等を通じたアジアにおける広域的な物流環境の改善

効率的でシームレスな物流網の構築

- ・スーパー中枢港湾プロジェクトの充実・深化、産業港湾インフラの刷新、港湾関連手続の電子申請化
- ・航空自由化の推進による航空貨物ネットワークの拡充、大都市圏拠点空港の物流機能強化等
- ・高速道路の料金引き下げなど既存の高速道路ネットワークの有効活用
- ・国際・国内モードや物流活動の拠点などの有機的連携に資する道路ネットワークの整備等
- ・鉄道の輸送力増強や内航海運・フェリーの競争力強化
- ・物流総合効率化法の活用等

貿易手続や物流管理のIT化と国際的情報連携の構築

- ・輸出入・港湾関連情報処理システム(NACCS)と民間の物流関連システムの連携  
[NACCS: Nippon Automated Cargo and Port Consolidated Systems]
- ・電子タグ等の技術の活用

セキュリティ確保と物流効率化の両立

- ・保税・通関制度等の継続的な見直し、関税法に基づく認定事業者制度(AEO制度)の国際的な相互承認に向けた取組みの推進
- ・メガポート・イニシアティブ(世界の主要港における積荷の検査能力の強化)への対応に向けた取組み
- ・航空保安に係るKS/RA制度(荷主から航空機搭載まで一貫して航空貨物を保護する制度)の適切な運用  
[AEO: Authorized Economic Operator]  
[KS/RA: Known Shipper/Regulated Agent]

## 環境負荷の 少ない物流 の実現等

新技術を含む輸送モードごとの総合的な対策、モーダルシフトを含めた輸送の効率化

環状道路の整備、高度道路交通システム（ITS）の推進等の交通流対策  
[ITS: Intelligent Transport Systems]

地方公共団体、荷主、物流事業者等の多様な関係者の連携による取り組み

- ・幹線物流全般にわたる物流結節点の集約・再配置、巡回集荷（ミルクラン）など集配の効率化の推進
- ・複数荷主による共同輸配送や往路・復路組み合わせ合わせた輸送効率の向上等

グリーン物流の国際的連携

効率的な静脈物流の構築

利用運送事業者と実運送事業者の連携の強化

先進安全自動車（ASV）技術等を活用した大型トラックの車両安全対策  
[ASV: Advanced Safety Vehicle]

トラック運送事業者の運行管理の徹底、監査の充実、運輸安全マネジメントの推進

交通安全施設等の重点的整備

沿岸国との協力等を通じた航行安全の推進や海賊行為への適切な対応

安全・安心の確保に向けた防災・減災対策の総合的な実施、労働力の確保・育成

## 安全・確実 な物流の確 保等

国民の理解と協力

荷主企業と物流企業、  
インフラとの連携・協働

地域レベルでの関係者の  
連携・協働

PDCA方式による施策の推進体制